

ニツ森登山口

行程：3.2 キロメートル

所要時間：1 時間（片道）

秋田県藤里にあるニツ森（1,086 m）は、白神山地核心地域に最も近い山である。この登山コースは、緩衝地帯（世界遺産白神山地の核心地域を囲むエリア）を通り、秋田県と青森県の境にある山の頂上に通じている。登山口への道はかつては林道であり、森を抜けて青森県に至る予定だったが、1990 年に環境活動により工事が中止された。

ニツ森という名前は文字通り「2 つの森」を意味し、山の生態系は多種多様な動植物を支えている。林道沿いの一部はかつて木材のために伐採されていたが、山のふもとの丘陵地帯は、今でも大部分が樹木栽培に使用されている。しかし、登山コースが白神山地の核心地域に近づくにつれて、徐々にササが下生えしたブナの森に変化していく。森のブナの木多くは、幹が曲がっている。若いブナは、豪雪の重さで曲がるが、木が生長するにつれて強くなり、雪の重さに耐えて幹をまっすぐに伸ばすことができるようになる。林床は、オオカメノキ、カタクリおよび数種類のシャクナゲを含む、さまざまな低木と草本植物で覆われている。